

**苫小牧市社会福祉表彰** 詳細 総合福祉課 ↗ (32)6354

令和7年度の社会福祉表彰が2月2日に行われ、今年度は「ひとり親家庭表彰」部門で1人、「勤労障がい者表彰」部門で1人、「福祉のまちづくり表彰」部門で3団体が表彰されました。



**ひとり親家庭表彰**

平成20年に夫と死別後、二人の子どもを育てるため、実家の協力を得ながらパートを掛け持ちし、懸命に就労してきた。将来を見据えながら計画的かつ献身的に子どもたちを支え、専門学生の娘と高校生の息子を育て上げた。18年勤めた会社の閉鎖により3年前に転職したが、現在も新たな仕事に誠実に向き合っている。家族のために努力を惜しまないその姿勢は他の模範となっている。

きむら みゆき  
**木村 美幸**さん (写真左から1人目)

**勤労障がい者表彰**

平成10年4月から、現在の職場で稼働を継続している。日々の業務においても、欠勤や遅刻もなく真面目で誠実な勤務態度を常に維持している。また、昨春より一人暮らしを開始し、仕事と日常生活の両立を意識して生活している。

やぶた てるかず  
**藪田 照和**さん (写真左から2人目)

**福祉のまちづくり表彰**

令和2年12月から、ボランティア局や硬式野球部の生徒だけでなくとどまらず、サッカー部、アイスホッケー部の生徒など多くの生徒がボランティア活動に参加している。雪かきボランティアと灯油運搬、どちらの活動も利用者である高齢者などの自宅を訪問した際に、見守りも兼ねて声掛けやあいさつを意識し取り組んでいる。

がっこう ほうじん はらがくえん  
**学校法人 原学園**  
とまこまいちゅうおうこうとうがっこう  
**苫小牧中央高等学校**  
(写真左から3人目)

平成15年6月から、主に視覚障がい者へのサポート活動を行っている。音卓球やパラスポーツイベントへの同行・補助の他、視覚障がいの方から依頼があった際には、「送迎」や「買い物」「自宅内の整理整頓」など日々の生活の困りごとに対応している。

ユー アンドアイ  
**YOU & I**  
(写真右から3人目)

平成20年度から毎年苫小牧市福祉ふれあい基金への寄付活動を継続しており、福祉のまちづくりに寄与している。また、北海道難病連に加盟しており、苫小牧市における腎臓病患者や支援者に寄り添う活動を継続している他、障がい者などの積極的な社会参加を可能とする取り組みを行っている。

とまこまいじんゆうかい  
**苫小牧腎友会**  
(写真右から1,2人目)

**3月は自殺対策強化月間です!** 詳細 健康支援課 ↗ (32)6410

**知ってほしい自殺の現状**

令和6年の本市における自殺者数は47人と年々増加しており、全国・全道と比較しても高い水準で推移しています。本市の特徴として、男性は20～50歳代、女性は50代以降の自殺者が多い状況です。自殺の原因は、男性は「経済・生活問題」「健康問題」「勤務問題」が多く、女性は「健康問題」「家庭問題」が多い状況です。

**「こころの体温計」でこころの状態を確認してみましょう** チェックはこちらから▶

**こころの体温計 (本人モード)**

ご本人の健康状態や人間関係、住環境などの4択式の質問13問に回答していただくと、ストレス度や落ち込み度が、水槽の中で泳ぐ金魚、猫などの絵になって表示されます。

【赤金魚】自分の病気などのストレス  
【水色のヒビ】住環境のストレス  
【青金魚】自分自身のストレス  
【石】その他のストレス

※レベルが上がる毎に水が濁っていき、※レベルが上がる毎に水が濁っていき

**■ こころのパネル展** 日時 3月2日(月)～13日(金) 場所 市役所 1階中央ロビー

---

**■ こころといのちの講演会**

自死遺族の会を立ち上げるなど、長年にわたり遺族支援にご尽力されてきた日本医療大学の吉野 淳一 特任教授をお迎えし、自死遺族支援についてご講演いただきます。また、後半には大切な人を自死で亡くされた方から、メッセージをお話いただきます。

▼申し込み

日時 3月7日(土) 14時～16時(受付=13時30分)

場所 市民文化ホール マルチホール

定員 300人 申し込み順

申し込み 3月3日(火)までに電話または二次元コードで